

リニアも原発もNO！ 緊急シンポジウム開催

7月18日、相模原市・橋本で、市民団体などが主催する緊急シンポジウム「どうする原発！どうするリニア！」が開催されました。シンポジウムには、相模原市民など235名が参加し、JR東海労も実行委員として参加すると共に、多くの組合員が参加し、リニア・原発について共に考え連帯を深めてきました。シンポジウム実行委員会は、前段、橋本駅前において街宣・ビラ配布行動を行い、市民の皆さんへシンポジウムへの参加を呼び掛けました。



シンポジウム冒頭の特別講演では、「今、原発・福島・リニアを考える！」と題して、電磁波環境研究所・荻野晃也所長から、原発とリニアの関係について問題提起されました。

パネルディスカッションでは、荻野所長の他、千葉商科大学大学院・橋山禮治郎客員教授、生活クラブ生活協同組合静岡・赤堀ひろ子顧問、相模原市議会・野元好美議員から、それぞれリニアや原発の問題点が報告されました。

参加者からの発言として、JR東海労からは、高原副委員長が「葛西会長の原発推進発言を許さない」と訴えました。そして、シン



ポジウムの最後に、中部電力への「浜岡原発の全炉廃炉及び使用済み核燃料の安全管理に対する要請」と「集会宣言」を全体で確認しました。

大量電力消費のリーニアは要らない！
電力浪費の社会をつくらせない！